

西海ブロック水産研究及び水産業情報（県水産試験場等）

No. 62 平成20年11月（平成20年7月～9月分）

西海区水産研究所

		水産資源関係	水産海洋・漁場環境保全関係	水産増養殖関係	その他（水産利用加工、水産経済関係、災害等）																											
水産業の動向	山口県	* 棒受網・抄網：カタクチイワシ漁、7～8月順調に経過。9月からウルメイワシ漁開始。	* 萩沖表層水温、7月下旬平均28.46℃、8月上旬平均28.94℃で観測史上最高。	* 特になし	* 特になし																											
	福岡県	* 筑前海：マダイ幼魚分布量は平年並。まき網マアジは極めて少ない。イカ釣りケンサキイカは7、8月はほぼ平年並み。イカナゴ漁の自主禁漁のため、ブリなどを対象としたイカナゴ撒き餌釣り出漁見送り。 * 有明海：アサリは平年並み。サルボウは資源量多いが販売不振のため漁獲量少ない。ガザミは7月少ない。8月下旬から近年にない好漁。クルマエビは不漁。食用クラゲが好漁。シジミが好漁。 * 豊前海：ガザミ、クルマエビ、小型エビ類は好調。シャコは不漁。アサリ資源は少ない。 * 内水面：アユは昨年よりも良いがそれほど好漁ではない。オイカワは昨年よりも漁獲はやや多い模様。エツは昨年の半分程度の漁獲。モクズガニの降下は今後という状況。	* 筑前海： 水温 塩分 7月 やや低め 平年並み 8月 やや高め やや低め 9月 やや低め 平年並み * 有明海： 水温：7、9月やや高め、8月平年並み 比重：7、8月平年並み、9月やや高め 赤潮：9月3件 <i>Mesodinium rubrum</i> （2件） <i>Akashiwo sanguinea</i> （1件） * 豊前海：水温は8月の表層がやや高め底層は平年並みで推移した。塩分は、表層・底層とも8月にやや～かなり高めで推移した。 赤潮の発生 7/3～7/25 カレニア ミキモトイ 9/26～ ゴニオラックス ポリグラマ	* 有明海：ノリ採苗は10月17日に決定。 * 内水面：受精卵放流用アユの採卵は昨年とほぼ同時期となる見込み。	* 内水面：九州北部は6月中の降雨は比較的順調。																											
	佐賀県	* 玄海：玄海漁連市場への水揚げは、コウイカは平年、前年を大きく上回った。シロギスは平年を上回り、前年並みだった。マダイ、オニオコゼは平年、前年並み。クルマエビ、アオリイカ、スルメイカ、アワビ類、サザエは平年、前年を下回った。 * 有明：鹿島市地先で天然アゲマキの発生を確認した。タイラギは、8月中・下旬に「立ち枯れ斃死」が確認された。9月は、ガザミが豊漁。	* 玄海：壱岐水道、対馬東水道の水温は、4月はやや低めで、その後昇温し、6月は平年並み、8月はやや高めとなった。エチゼンクラゲの定置網への入網や操業海域で視認されなかった。 * 有明：今年は梅雨明け早く、水温、塩分は平年より高めに推移した。シャトネラ赤潮が発生した（7月29日～8月21日）。7～8月のDINは、シャトネラ赤潮等出現により平年より低めに推移した。シャトネラ赤潮発生時には天然魚介類の斃死もみられた。粘質状浮遊物の発生はなかった。エチゼンクラゲは発見されなかった。	* 有明：サルボウ稚貝発生量は例年になく多かった。今年度のサルボウの漁獲量は約3,300トン（聞取り）。8月中旬～9月にかけてサルボウのへい死がみられた。特に塩田川河口漁場でのへい死率が高かった。9月に垂下養殖カキのへい死がみられた。アサリのへい死は少なかった。	* 特になし																											
	長崎県	* トビウオ、ケンサキイカは、前年を下回り、不調であった。	* 特になし	* 特になし	* 特になし																											
	熊本県	* 天草漁協牛深総合支所後浜新港に水揚げされた中型まき網漁業のアジ・サバ・イワシ類の漁獲量（7-9月）は前年同期（1,783t）及び平年同期*（1,346t）とも上回った。 ※H15～H19年 <table border="1"> <thead> <tr> <th>魚種</th> <th>漁獲量</th> <th>前年比</th> <th>平年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マアジ</td> <td>170t</td> <td>271.5%</td> <td>132.6%</td> </tr> <tr> <td>サバ類</td> <td>616t</td> <td>237.1%</td> <td>167.7%</td> </tr> <tr> <td>マイワシ</td> <td>2t</td> <td>4.5%</td> <td>13.8%</td> </tr> <tr> <td>カタクチ</td> <td>1,009t</td> <td>86.9%</td> <td>285.2%</td> </tr> <tr> <td>ウルメ</td> <td>103t</td> <td>39.4%</td> <td>21.3%</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>1,900t</td> <td>106.6%</td> <td>141.2%</td> </tr> </tbody> </table>	魚種	漁獲量	前年比	平年比	マアジ	170t	271.5%	132.6%	サバ類	616t	237.1%	167.7%	マイワシ	2t	4.5%	13.8%	カタクチ	1,009t	86.9%	285.2%	ウルメ	103t	39.4%	21.3%	全体	1,900t	106.6%	141.2%	* 海況（7～9月） 水温：有明海でやや低めから平年並み、八代海でかなり低めからやや高め。 塩分：有明海・八代海ともに平年並み。 * 赤潮発生状況（：以降は期間） ・ 有明海 1 <i>Chaetoceros</i> spp.、 <i>Skeletonema costatum</i> 、 <i>Eucampia zodiacus</i> 、 <i>Rhizosolenia</i> spp.：7/4～7/22 2 <i>Chattonella</i> spp.、 <i>Heterosigma akashiwo</i> 、 <i>Cochlodinium polykrikoides</i> ：7/30～8/28	* クルマエビ養殖においてPAVが1カ所で発生した。
魚種	漁獲量	前年比	平年比																													
マアジ	170t	271.5%	132.6%																													
サバ類	616t	237.1%	167.7%																													
マイワシ	2t	4.5%	13.8%																													
カタクチ	1,009t	86.9%	285.2%																													
ウルメ	103t	39.4%	21.3%																													
全体	1,900t	106.6%	141.2%																													

## 西海ブロック水産研究及び水産業情報（県水産試験場等）

No. 62 平成20年11月（平成20年7月～9月分）

西海区水産研究所

	水産資源関係	水産海洋・漁場環境保全関係	水産増養殖関係	その他（水産利用加工、水産経済関係、災害等）																		
水 産 業 の 動 向	熊本県	*有明海沿岸の干潟域でのアサリ漁獲について（1～9月）：聞き取り調査によると、3,621トンの漁獲があつているが、前年同時期の3,555トンと比較して102%と前年並み。	3 <i>Skeletonema costatum</i> , <i>Chaetoseris</i> spp., <i>Akashiwo sanguinea</i> , <i>Ceratium furca</i> , <i>Eucampia zodiacus</i> : 9/10～10/8 ・八代海 1 <i>Gyrodinium dominans</i> , 微細藻類 : 8/4～8/7 2 <i>Chattonella antiqua</i> , <i>Gyrodinium dominans</i> , <i>Karenia brevis</i> : 8/11～9/2 3 <i>Mesodinium rubrum</i> : 8/11～8/18 4 <i>Karenia mikimotoi</i> , <i>Karenia brevis</i> , <i>Euglena</i> spp. : 9/16～9/22 5 <i>Skeletonema costatum</i> , <i>Nitzschia</i> sp p., <i>Thalassiosira</i> spp. : 9/22～継続中 ・天草海 1 <i>Cochlodinium</i> sp. : 8/26～8/28																			
	大分県	*豊前海ではガザミ、クルマエビ好漁。日田地区でアユ漁好調。	*豊後水道水温7～8月は全体的にやや高め、9月は平年並みからやや高め。 *豊前海の水温は7月は「やや低め」8月は「かなり高め」9月は「平年並」。 *豊前海～別府湾にかけて、カレニア・ミキモトイ発生。 *県南部佐伯市の佐伯湾でギムノディニウム・ミキモトイ（7月）、及びゴニョラックス・ポリグラマ（8月）赤潮が発生。	*クルマエビ養殖場でPAV発生。	*特になし																	
	宮崎県	*まき網漁業：7月はサバ類主体に前年の約7割、8月はウルメイワシ、サバ類主体に前年の約3倍、9月はサバ類主体に前年の約1.9倍。魚種別には、マイワシは7月に若干まとまったが1～9月累計は前年の約2割、ウルメは8月に好漁となり、累計は好調だった前年並み、カタクチは6月に若干まとまったのみで累計は前年の約2割、マアジは6月以降低調だが累計では不漁の前年の約1.1倍、サバ類はゴマサバ2007年級が7月以降好調で、累計では好調だった前年並み。 *船曳網漁業：7～8月に上向きとなり、1～8月累計では前年の約8割。	*日向灘沿岸定線調査結果： 表面水温 表面塩分 7月 平年並み やや低め 8月 やや高め やや高め 9月 平年並み やや低め	*特になし	*特になし																	
	鹿児島県	*主要4港のまき網水揚調査 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>魚種</th> <th>前年比</th> <th>平年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マアジ</td> <td>532%</td> <td>253%</td> </tr> <tr> <td>サバ類</td> <td>177</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>ウルメイワシ</td> <td>30</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>カタクチイワシ</td> <td>158</td> <td>432</td> </tr> <tr> <td>ムロアジ類</td> <td>89</td> <td>76</td> </tr> </tbody> </table> *マアジの水揚げで好調であったが、前年好調であったウルメイワシは前年を大きく下回り低調。	魚種	前年比	平年比	マアジ	532%	253%	サバ類	177	100	ウルメイワシ	30	99	カタクチイワシ	158	432	ムロアジ類	89	76	*特になし	*特になし
魚種	前年比	平年比																				
マアジ	532%	253%																				
サバ類	177	100																				
ウルメイワシ	30	99																				
カタクチイワシ	158	432																				
ムロアジ類	89	76																				

## 西海ブロック水産研究及び水産業情報（県水産試験場等）

№. 62 平成20年11月（平成20年7月～9月分）

西海区水産研究所

	水産資源関係	水産海洋・漁場環境保全関係	水産増養殖関係	その他（水産利用加工、水産経済関係、災害等）	
水産業の動向	鹿児島県	*バショウカジキ漁：例年8月中旬から漁獲があるが、今年は来遊が9月中旬から来遊。漁獲も低調。			
	沖縄県	*特になし	*特になし	*特になし	*特になし
その他 （国への要望等）				*玄海：玄海水産振興センター一日開放デー（第1回玄海の海まるごと体験フェスタ）開催（8月10日）（佐賀県）	